

【 無料ダウンロード資料 】

社労士試験の勉強法

このPDFで差がつく！択一式・個数問題&組合せ問題の出題数推移を一挙公開

※約3分で読めます

社労士試験は、個数問題や組合せ問題が出題されるようになりました。

過去に出題された個数問題等の「出題数」を把握し、模試で解き方を確認しておきましょう。

個数問題が出題されたら、すぐに解くのか、それとも後回しにして、確実に解ける問題を最優先にするのか。

今後の参考として、過去に出題された個数問題&組合せ問題の出題数をお伝えします

個数問題・組合せ問題は出題数が増加

平成24年から組合せ問題、平成26年から個数問題が出題されています。令和6年から組合せ問題（3肢）の出題形式になりました。

年度	回数	傾向変化
H24	第44回	組合せ問題（2肢）が出題され始める
H26	第46回	個数問題が出題され始める
R6	第56回	組合せ問題（3肢）が出題され始める

年々、出題数は増加し、特に個数問題は1問の負担が大きくなります。模試などで、解き方を事前に確認しておきましょう！

年度	R2	R3	R4	R5	R6
組合せ問題	9問	5問	5問	5問	10問
個数問題	2問	3問	3問	4問	6問

私の経験談になりますが、組合せ問題と個数問題は次のように解いていました。

✓ 組合せ問題

1つ正解を見つけると、選択肢も2～3個に絞られるので、解きやすい出題形式なのですぐに解いていました。

実際、組合せ問題は1つの正誤判断する通常の出題形式より、解きやすい問題が多かったというのが私の感想です。

✓ 個数問題

個数問題は後回しです。ほかの問題と同じ1点なのに、5肢すべて正誤を判断するので、単純に難易度が高まります。

解ける問題を最優先にドンドン進めて、**すべて解き終わった残りの時間で「個数問題を解く」**ことが受験テクニックの1つでもあります。

組合せ問題・個数問題の取り組み方は、絶対に自分なりに解き方を決めておきましょう！

下記の記事で、組合せ問題や個数問題の年度別出題数を書いています。

きっと、参考になるのでご覧ください。



参考記事はこちら

クリック→ [【社労士試験 合格ライン予想 大原！】速報 2024 年（56 回）選択式・択一式](#)

しゃろうむ